

13節、イエスは弟子たちに質問しました。「人々は人の子をだれだと言っていますか」  
14節、弟子たちは、いろいろな人々のうわさしている事を、イエス様に伝えました。

さて、イエス・キリストは何者、なのでしょう。

・律法学者、パリサイ人、一般民衆は、「サタンの仲間、バプテスマのヨハネ、預言者の一人、」などと、人間的な憶測によって、いろいろと言っていました。

・現代でも人々は、イエス様のことを「偉大な宗教的指導者の一人、当時の体制に反対して社会変革を企てた革命家、道徳的教師、偉大な芸術家、スーパー・スター、等々・・・」と言っています。それぞれが人間的な観点から見て「ああでもない、こうでもない」と言っているのです。

----- イエスはキリストである -----

しかし、このようなやり方でイエス様を見ているかぎり、イエス様の本当の姿はつかめませんね。では2千年もの長いキリスト教の歴史を支えてきたものは何なのでしょう？それはイエス様をキリストであると告白する信仰以外のなにものでもありませんでした。過去の歴史の中で多くの信者が殉教したのはなぜなのでしょう？それはイエス様がキリストであるという信仰を守ろうとしたためなのです。そして、その様な確固たる信仰は、人間から出たものではなく、神から出たもの（聖霊の賜物）です。

次にイエス様は、直接弟子たちに尋ねられました。

15節、「イエスは彼らに言われた。『あなた方は、わたしを誰だと言いますか。』」でもお弟子たちは誰も答えません。そんな中でたった一人、ペテロだけが口を開きました。

16節、「シモン・ペテロが答えた。『あなたは生ける神の子キリストです。』」

----- ペテロの答えに喜ばれたイエス様 -----

17節「イエスは彼に答えられた。『バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。・・・』」

今、イエス様はペテロの答えを聞いて大変喜ばれました。実はこれこそが、主が心から望んでおられた答えでした。

----- 聖霊によってイエスをキリストと告白したパウロ -----

そういえば、あのパウロも又、回心する前は、イエス様を救い主としてではなく、単なる一人の人間として考えていました。しかし復活された主と出会ってから彼は変わりました。第2コリント5：16「ですから、私たちは今後、肉に従って人を知ろうとはしません。かつては肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもうそのような知り方はしません。」パウロは今「イエスはキリストです」とイエス様を神様、救い主と認めました。どうしてでしょうか？

聖書は次のように述べています。「・・・聖霊によるのでなければ、誰も『イエスは主です』と言うことはできません。」第1コリント12：3b 聖霊の働きによってでした。

皆さんも又、すでに「イエス様をキリストである」と告白しています。これもまた、パ

ウロと同じ聖霊の働きによるのです。この様にして今、ペテロもまた聖霊に導かれて答えることができました。16節「あなたは生ける神の子キリストです」

皆さんの信仰告白も、皆さんの強い意志、人間的な確信で、理性でなされたならばいつか変わることがあるかも知れません。しかし、聖霊によってなされたなら、変わる事はありません。

さて、イエス様はこのペテロの答えに大変満足なさいました。そしてただちに次の3つの大切な事をペテロに教えるのでした。

----- ペテロが教えられた大切な3つの事 -----

### その1、教会は信仰告白の上に建てられる

18節「・・・あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます・・・」  
イエス様は、岩の上にわたしの教会を建てると言われました。

「この岩の上に」とはどういう意味なのでしょう。それはペテロ（小石）の上にという意味ではありません。ペテロが告白した**信仰告白（岩）**の上にという意味です。この信仰告白（岩）の上にキリストの教会は立てあげられて行くのです。

・「ペテロ（ペトリロス）」は石のかけら、小石の事。「岩（ペトラ）」は岩盤の事です。

---- ペテロの首位権 ----

実は、この18節から、ローマ・カトリック教会では、ペテロが教会の始まりであるとしています。バチカンにある、サンピエトロ寺院はその名のごとく「聖ペテロ教会」です。この様にして、その首位権はペテロの後継者であるローマ教皇に継承されていくのです。

ここでひとつ注意したいことは、この「教会」とは教会堂のことではありません。むしろ「集会」という意味なのです。つまり「神を信じ、信仰告白した人々の集まる所」が教会です。

イエス様が「わたしの教会を建てます」と言った、その意味は、繰り返して言いますが「神様を信じている人々の交わり」のことなのです。教会が成長するとは、この交わりが生きた交わりとして深められ、広げられていくということなのでしょう。

「祈りの細胞」を通して、信仰告白した者たちの暖かな交わりが、豊かに広げられていたらそれは本当に素晴らしいことです。

わたしたちも信仰告白の上に、岩盤の上に教会をしっかりと建て上げて行きましょう。

### その2、教会は死の力に勝利している

18節「・・・よみの門もそれに打ち勝つことはできません・・・」

「よみ（ハデス）の門」とは、死人の行く場所の門のことです。そこは、死の力によって完全に支配されている所です。しかしキリストの教会は、罪の刑罰である死の力にも、

完璧に打ち勝っている所なのです。なぜなら、教会の頭（かしら）はキリストです。教会はその体です。このお方は罪に打ち勝ち、死を打ち破って、復活されたお方です。ですから、キリスト教会は、二千年にも渡る歴史の中で、この復活信仰によって、あらゆる迫害、弾圧に打ち勝ってきました。そして、このイエス様のおことばが正しいことを、イエス様が神の御子であることを示して来ました。

そう、教会は、復活の力によって、すでに死の力に、打ち勝っている所なのです。第一ヨハネ 5：4，5 「神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の子と信じる者ではありませんか。」もう教会の中に死は見られません。葬式は天への凱旋式です。

### その3、教会は天国への鍵を持っている

19節「わたしはあなた（ペテロ）に天の御国の鍵をあたえます・・・」とイエス様は言われました。この鍵が天の御国の戸を開けるのです。

鍵は本来、扉を開いたり閉じたりするためのですね。ここで言われている鍵は元来、イエス・キリストだけが持っているものでした。でもここでは、その鍵が今ペテロに与えられています。

そして、信仰告白をした教会のメンバーは皆さんも全員この鍵を持っています。この鍵は天国を約束するパスポートです。この鍵は天と地をつなぐ鍵でもあります。でもあのヤコブの兄のエサウは、この鍵を一杯の食べ物と交換してしまったのです。残念ですね。

#### ----- 鍵のもう一つの働き -----

19b節「・・・あなたが（ペテロが）地上でつなぐことは天においてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます。」

更に、18章18節を読むと、イエス様は弟子たちに対しても、次の様に言っています。

「まことに、あなたがた（弟子たち）に言います。何でもあなたがたが地上でつなぐことは天でもつなぐれ、何でもあなたがたが地上で解くことは天でも解かれます。」鍵は天と地とを確実に結びつけています。

この様に弟子たちも、ペテロとイエス様が持つておられた権限が与えられました。もちろん、その弟子たちの代表者はペテロですね。

#### ----- 地上の問題を解決する鍵 -----

さらに、18章19～20節に注目しましょう。

「まことに、もう一度あなたがたに言います。あなたがたのうちの二人が、どんなことでも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父はそれをかなえてくださいます。二人か三人がわたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのです。」

教会での祈り会がどんなに大切であるかがわかるでしょう。ひざとひざをむき合わせ、手と手をつないで祈りましょう。教会で、夫婦で、親子で家族みんなで、兄弟姉妹で・・・祈りましょう。イエス様は言いました。「わたしもその中にいるのです。」これが理想的な教会の姿です。

#### ----- 祈りは奇跡を起こす -----

この鍵（祈り）はイエス様と確実につながっています。この鍵は御国への門を開く鍵で

すが更に、地上のすべての問題を解決する鍵でもあります。このように主の権威によって私たちも地上で主の業を行うことができます。鍵は祈りです。この鍵で人と人とが確実につながることができます。19節のように、主の名によって祈るなら主は乗り出して来られます。

鍵は祈りです。あらゆる問題の解決の鍵は祈りです。祈りは神の奇跡を起こします。あのビリー・グラハム牧師は「クルセード成功の秘訣は？」と聞かれた時に答えました。「祈りです」次は何ですか「祈りです」次は・・・「祈りです」。祈り、祈り、祈りです。

----- 早天祈り会の祝福 -----

ある婦人伝道者が、開拓伝道を始めることになりました。自分が所有していた畑を整地して、小さな家を建て、その一室を集会所としてやがて教会が始まりました。

清貧な生活であったことはもとより、衣服も人のお下がりでご慢し、食べるものも慎ましい出発でした。

そんなある日、近所の婦人が訪ねてきて、求道し始めました。その婦人は「先生お手伝いすることがあったらおっしゃって下さい」と申し出て下さったそうです。先生はさっそく「一つ頼みがあるの、毎朝一時間で良いから私と一緒に祈りの時を持っていただけませんか」と言うのと「そんな事で良いなら喜んでします」ということから、毎朝の早天祈り会が始まりました。

その婦人は、その祈りの中で養われて、たちまち立派な信者に成長して行きました。そして人々が次から次へと導かれ救われて、受洗し、教会が形作られて行きました。

(出エジプト17章8～16節) アロンとホルによってモーセの祈りの手が支えられイスラエルが勝利したように、教会の本当の力は祈りにあるのだと言うことを身を持って知りました。教会に本当の祈り手が起こった時、教会は生き生きと成長して行くのではないのでしょうか。

教会の頭はキリストです。このお方に祈るなら、主は聖霊を与えてくださいます。神業が起こるのです。そして、教会はキリストの体です。私たち、ますます謙遜になって頭なるキリスト様、そしてその体である教会に仕える者になりましょう。教会は頭が天に、体は地に着いている大きな存在です。

私たちの教会、祈りによって前進する教会でありたいですね。祈りましょう。  
祈りが教会成長の鍵です。